

# 令和4年度岡山県立林野高等学校学校評価書

校長 安東 幸信

## 1 学校自己評価について

### (1) 評価結果

別紙「令和4年度 岡山県立林野高等学校具体的な学校経営目標・計画」参照

## 2 学校関係者評価について

### (1) 学校運営協議会委員名

新田 義純 (美作市立江見小学校 校長)	渡邊 祥子 (美作市市役所 企画振興部 営業課長)
松本 勝巳 (美作市立美作中学校 校長)	上原 正之 (元岡山県立津山東高等学校校長)
小林 朋道 (鳥取環境大学環境学部 学部長)	山下 佳苗 (勝田中学校 PTA母親の会代表)
白沢 健二 (白沢プランニング 代表取締役)	主原 啓隆 (同窓会副会長)
早瀬 崇之 (ハヤセ株式会社 代表取締役)	尾高 弘之 (PTA会長)
杉浦 剛 (Google for Education営業統括本部 部長)	安東 幸信 (校長)
井口 博文 (美作市教育委員会 学校教育課長)	

### (2) 学校関係者評価について

学校運営協議会における学校関係者評価として、委員から指摘いただいた主な点は、次の通りである。

- ① 成人年齢が18歳となり、主権者教育など高校での取組をして欲しい。  
→ (学校) PTA総会で岡山弁護士会による講演会、3年生に選挙についてのLHRを実施した。
- ② OSでのOB・OG交流会の実施について、先生の話も重要だが、OBやOGの説明の方が重要なので今後も力を入れてもらいたい。また、受付からずっと高校生が中学生を誘導してはどうか。
- ③ 生徒募集について苦労しているが、一つには交通の便の悪さがあるのではないか。そのあたりで、行政から働きかけていただくのはどうか。
- ④ 林野の先生が美作市の小中学校教員を対象としたICT活用研修の講師として参加してくれている。回が進むにつれ、授業の質の変化や生徒の思考の活性化など、質問のレベルが高くなり、効果を実感している。
- ⑤ 進路指導課では面談記録をChromebookで記録・共有し、次年度に引き継ぐと言われている、素晴らしいと思う。部活動顧問にも共有して進路指導に役立てて欲しい。
- ⑥ 3年ぶりに開催した中学生の生徒会サミットに林野の生徒会が進行役をしたり、中学校の校長会に林野・勝間田両校長が参加するなど中高連携にも注力いただいた。
- ⑦ 津山地域から林野高校への通学方法について、パンフレットやチラシに取り入れる工夫をしてみてもどうか。
- ⑧ オープンスクールに中学1年生向けのイベントがあれば、早くから意識付けができる。
- ⑨ 林野高校のPRをする際のポイントとして、分かりやすく明るいイメージが大切である。
- ⑩ ホームページの部活動の写真などが古い感じがする。現役の生徒のアップ写真など新しいものに更新するとよい。
- ⑪ 定期的に中学校を巻き込む活動があれば望ましい。また、YouTubeなど中学生に向けた発信ができるとうよい。
- ⑫ 本校中学校での林野高校の評判は良い。しかし、津山市内の高校への受験者の増加しており、生徒の希望が多様化しているので難しい面もある。
- ⑬ もっと地域の異種学校と交流して行くのが望ましいのではないか。

## 3 来年度の重点目標(案)について

学校評価書等をふまえて、来年度の重点目標(案)は次のとおりである。

- ICT教育トップランナー校として、さまざまな場面でICTを活用し、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- 資質・能力の育成を基盤とした授業改善を進め、個別最適な指導を行う。
- 生徒自身が主体的、計画的に取り組む活動等を展開する。
- 生徒自身が社会との関わりの中で、自らの生き方を考え進路を実現することができるように指導する。
- 「開かれた学校」の観点から、小中学校・地域との連携や姉妹校との国際交流などを通じて生徒の豊かな人間性を育成する。
- 組織的で効率的な学校経営や個人の意識改革を進め、業務の負担軽減を図る。